



表紙のことは

1月15日、浅羽中学校の2年生39人が技術家庭科の授業で作成した手作り絵本を持って、浅羽北幼稚園を訪問しました。

生徒たちは、絵本の読み聞かせをしたり、遊具で一緒に遊んだりして園児と楽しいひとときを満喫。普段の授業では学べない体験ができて、大満足の様子でした。

市民の動き

人口 / 86,347人 (前月比+44人)

(外国人登録者4,090人含む)

男性 / 43,613人 (前月比-1人)

女性 / 42,734人 (前月比+45人)

世帯数 / 30,242世帯(前月比+57世帯)

平成20年1月1日現在

110番・119番

平成19年12月1日～31日

交通事故件数 83件 (+1件)

交通事故死者数 0人 (-1人)

交通事故負傷者数 110人 (±0人)

火災件数 2件 (±0件)

救急出動件数 223件 (-4件)

カッコ内は前年同月比較

広報

ふくろい



袋井市の市章

2008年(平成20年)2月1日発行 第69号

編集・発行 / 袋井市役所総務部秘書広報課広報広聴係 千437-8666

静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1 TEL 0538-43-2111(代表)

【ホームページ】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>

【携帯サイト】

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/i/>

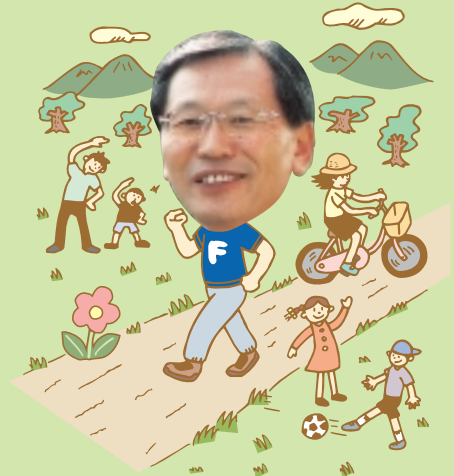
【Eメール】

hisyo@city.fukuroi.shizuoka.jp

原田市長の

さんぽみち

散歩道



正月の三が日は、一年の予測と過去から未来へのトレンドを知るため、全国紙と地方紙の全新聞を時間を掛けてじっくり読むことにしている。

今年も、景気は年央から上向く可能性もあるが、あまり良くなく、原油高に伴って、物価が上がる可能性が強いこと、中・長期的には、環境破壊が進み、地球に大きな害をもたらすこと、日本の国力や通貨が国際

比較してみると次第に下がってきていることを警告している。

景気が良くなる、物価が上がるのと所得は増えず、支出が多くなるので生活は苦しくなる。市の予算も人件費や建設費を削り、社会保障費のようにどうしても必要な部

門へ回すことになる。

原油価格が上昇するのは、中国やインドなどで需要が高まっているのが根本的な理由で、35年前にローマ・クラブが「資源の有限性」を説いたことを思い出す。重油を使うメロン農家は大変で、代替燃料の

「正月の新聞」

開発や輸出まで視野に入れた価格転嫁が必要になるかもしれない。環境破壊による地球温暖化が進んでいて、海面上昇で水の都ベニ

スの観光が危機に面しているという。水に弱い袋井市では、集中豪雨対策として、河川改修はもとよ

り、遊水池を増やすことも必要になる。

日本の通貨の価値が下がって、所得も増えないと「老後は年金で物価の安い海外でのんびり」などと20年前に語られた話は、夢物語になる。今は、東京の1泊5万円以上もする高級ホテルが金持ちになった国からの客でぎわっている。

最後に、すばらしい記事も見付けた。ブータン王国では、国の目標が「国民総生産額」の向上ではなく、「国民総幸福量」の向上であるという。国民生活も一定水準に達し、経済も円熟化した今日、日本でも目指す方向を「幸福とは何か」に変更してもいい時にきているのかもしれない。